

info-pack

株主の皆さまへ

第62期中間事業報告書
(2022年4月1日～2022年9月30日)



株主の皆さまへ

President's Message



代表取締役社長

箕井 義彦

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第62期中間事業報告書(2022年4月1日から2022年9月30日まで)をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

第2四半期連結累計期間の連結業績としましては、連結売上高は260億17百万円(前年同期比16.0%増)、連結営業利益は4億31百万円(前年同期は連結営業損失3億35百万円)、連結経常利益は5億94百万円(前年同期は連結経常損失1億71百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億34百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億7百万円)となりました。

当社は、営業販売部門、店舗販売部門、通信販売部門の3つのルートを持っています。営業販売部門及び店舗販売部門では、既製品の主力商品や環境配慮型商品の拡販と、特注品の受注活動に注力いたしました。また経済活動の回復に伴いイベント活動が復活してきたことを受けて需要は拡大し、さらに店舗外商活動に注力したことにより、売上は増加いたしました。通信販売部門では、「シモジマオンラインショップ」において、会員数が順調に増加したことと、メーカー直送に特化した「シモジマモール」の出品社数や掲載商品点数が増加し、さらに特注品専用の「シモラボ」のページを充実させたことなどで、売上は増加いたしました。

これら各ルートの販売活動活性化が、グループ全体の売上を前年同期比で増加させました。また、原材料価格の高止まりや大幅な円安の進行を要因とした原価の上昇に対応した売価の見直しを行ったことも売上増加に寄与しています。

利益面では、売上伸長の影響を受け、売上総利益は前年同期比で増加いたしました。また、経費においても物流費をはじめとする販売費及び一般管理費の圧縮に努めたことにより、各利益は前年同期比で大幅に増加いたしました。

今後も当社の活動へのご理解とご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

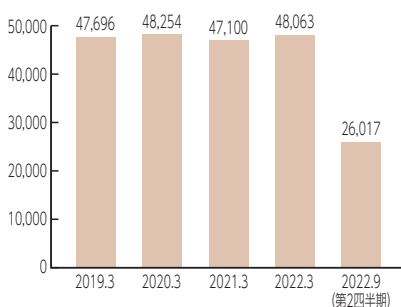
2022年12月

営業の概況

General Condition of Business

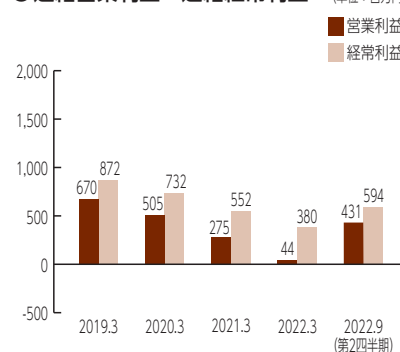
●連結売上高

(単位:百万円)



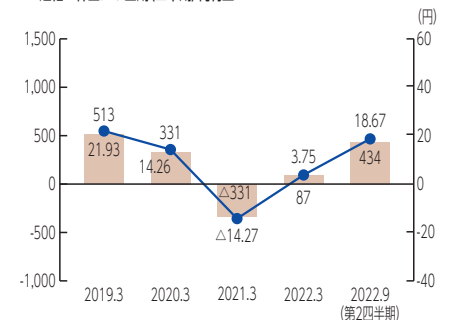
●連結営業利益・連結経常利益

(単位:百万円)



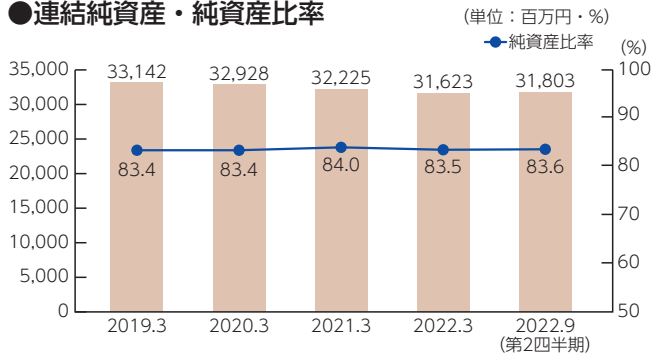
●親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益・連結1株当たり当期(四半期)純利益

(単位:百万円・円)

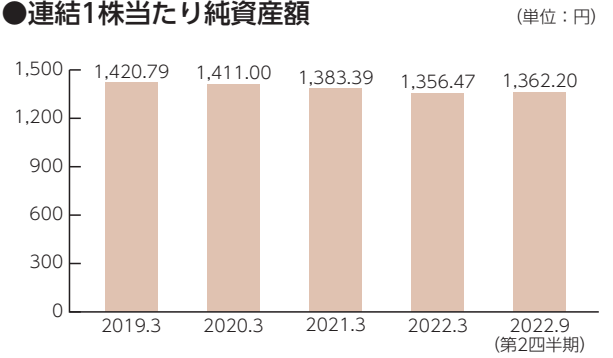


記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結純資産・純資産比率



●連結1株当たり純資産額



事業セグメントの概況

General Condition of Business Segments

■〔紙製品事業〕

連結売上高45億72百万円
(前年同期比11.5%増)

紙製品事業は、当社創業以来の主力事業としてオリジナルブランドの紙袋、包装紙、紙器を中心に販売しております。テイクアウト・フードデリバリー資材、通販資材の需要が引続き伸びたことに加えて、店舗資材としての紙袋、紙器の販売が好調に推移しました。



■〔化粧品・包装資材事業〕

連結売上高151億15百万円
(前年同期比19.2%増)

小売業、飲食業などの需要が回復し、中でも未晒フードカップ、バイオハンドハイパー等の環境配慮型商品の伸びが堅調でした。さらに個包装向け化粧品の販売が好調に推移し、化粧品・包装資材事業の売上増加に寄与いたしました。



■〔店舗用品事業〕

連結売上高63億30百万円
(前年同期比12.1%増)

店舗用品事業は「店舗及びオフィスで使用するあらゆるものが揃う」をコンセプトに事業展開しております。当期は、新型コロナ対策商品が継続して販売が好調だったことに加え、昨年グループ入りした株式会社グローバルブランドが当事業の売上を牽引しました。



新商品のご紹介

New Products

1. バンブーカップ、バンブーランチボックス

天然の竹の素材でつくったカップ・ランチボックスです。

脱プラスチック、CO₂削減のニーズに対応します。



▲バンブーカップ

▲バンブーランチボックス

2. ハンドハイパーエネルフィッシュ

魚の誤食を防ぐいま話題のポリ袋、「エネルフィッシュ」がレジ袋タイプでも新登場。「海の豊かさを守ろう」というSDGsに対応した商品です。



▲ハンドハイパーエネルフィッシュ

3. 竹丸箸 紙完封

成長が早く環境にやさしい竹のお箸で、割らずにお使いいただけます。紙完封で衛生にも配慮しつつ脱プラに貢献します。



▲竹丸箸 紙完封

1. A-プライス 名古屋店 オープン

当社では、「常に顧客のニーズに応え創意工夫による市場拡大に努める」ことを経営理念としております。

近年では、新型コロナ禍の影響もあり、フードのテイクアウト・デリバリーニーズが高まっております。当社では、これに対応して、関連の食品包材の品揃えを鋭意強化してまいりました。

当社はお客様のニーズにさらに対応するべく、新たな業態を常に模索しております。その一環として、この度、プロの食材の店「A-プライス」を運営する株式会社トーホーキャッシュアンドキャリアとの間でFC加盟契約を締結し、5月20日（金）、当社の旗艦店のひとつでありますシモジマ名古屋店（愛知県名古屋市中区錦二丁目5番17号）の1階におきまして、「A-プライス 名古屋店」をオープンいたしました。

当社の店舗は、お店で必要なお品が一度に揃うワンストップショッピングを基本コンセプトとしておりますが、食材と食品包材の双方を同一機会に調達していただける機会をご提供し、飲食店の皆さまに利便性を感じて頂ければとの試みです。

今後も長期ビジョンに則り“パッケージ × サービス”でお客様に元気を届けるトータルパートナーを目指してまいります。



▲A-プライス 名古屋店

2. 循環型社会への取り組み

当社では、従前より自然環境の保全へ協力をすべく、環境配慮型商品の開発・販促など関連の事業を継続しております。

そのようななか、今般、資源循環への貢献を図るための新しい取り組みを模索しております。

当中間期におきましては、まず、自社内で発生した段ボールより紙袋を製造し再製品化する「クローズド・リサイクル」の仕組みを構築いたしました。当社でも物流の関係で使用済の段ボールが発生いたしますが、これを丸紅グループの丸紅ペーパーリサイクル(株)に回収していただき、同グループの興亜工業(株)、丸紅フォレストリンクス(株)のお力で古紙100%の段ボール原紙として蘇らせ、当社と提携するヘイコーパック(株)にて紙袋としてリメイクし販売するというものであります。今後も紙製品の再製品化を拡げ環境負荷を低減しようとするものです。

さらに、当社は、「都市と森をつなぐ」をキーワードに「森と人がずっとともに生きる社会」を目指したさまざまな取り組みを行う一般社団法人more trees様の活動に賛同し、当社の利益の一部を寄付することいたしました。

これからも、環境の保全のために様々な取り組みを行ってまいります。



3. グループでの電力消費状況

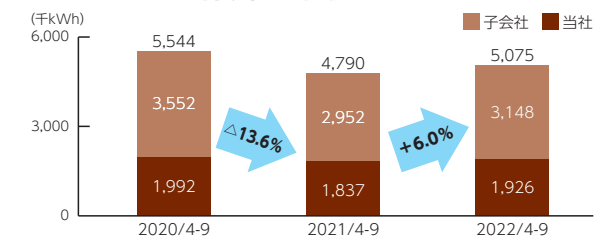
当社では、電力消費の抑制をCSR上の重要課題として取り組んでおります。具体的には、従業員が節電活動を行っているほか、エコカー、LED導入等の導入を適宜進めています。

今期におきましては、当社単体での消費電力量は、1,926千kWhとなり、4.8%の増加となりました。また、当社は、設備面積当たりの消費電力量を原単位としておりますが、当社単体での原単位は、40.48kWh/㎡となり前年同期比で6.1%の増加となりました。他方、グループの消費電力量は、5,075千kWhとなり、前年同期比で6.0%の増加、原単位はグループ全体で42.14kWh/㎡となり、6.3%の増加となりました。

一般的な増加傾向は、在宅勤務の減少、生産子会社の稼働日数の増加等によるものですが、節電活動もあいまって微増の結果となりました。

当社としましては、今後もエネルギー消費の削減に努力してまいりたいと存じます。

●グループでの電力使用量の推移



※1. 貸借店舗・事業所での電力使用量も含まれています。
 ※2. 千kWh未満及び小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

会社の概要

会社名 株式会社シモジマ
英訳名 SHIMOJIMA Co.,Ltd.
創業 1920年
設立 1962年4月26日
資本金 1,405百万円
本社 東京都台東区浅草橋五丁目29番8号
TEL 03-3864-0061 (代表)
従業員数 (連結) 809名 (就業員数)
(2022年3月31日現在)
(単独) 627名 (就業員数)

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行済株式総数 24,257千株
発行可能株式総数 67,000千株
株主数 5,557名

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 (連絡先)
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 東京証券取引所 (プライム)
単元株式数 100株
公告の方法 電子公告の方法により行います。但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告の掲載URL <https://www.shimojima.co.jp>

役員一覧 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長 笠井 義彦
代表取締役専務 下島 雅幸 (上席執行役員管理本部長兼人事部長)
常務取締役 小野寺 仁 (上席執行役員経営企画本部長)
常務取締役 川原 利治 (上席執行役員営業統括本部長)
取締役 服部 進吉 (上席執行役員営業統括本部副本部長)
取締役 大貫 学 (上席執行役員商品本部長兼品質管理部長)
社外取締役 梅野 勉 (独立役員)
社外取締役 岩崎 剛幸 (独立役員)
社外取締役 金井 千尋 (独立役員)
常勤監査役 古橋 孝夫
常勤監査役 工藤 弘行
社外監査役 佐藤 裕一 (独立役員)
社外監査役 榎本 峰夫 (独立役員)
上席執行役員 下島 謙司 (グループ管理室長)
上席執行役員 島田 浩一 (営業統括本部副本部長)
執行役員 渡辺 昭一 (営業統括本部副本部長)
執行役員 肥田 耕一 (商品本部副本部長兼第二商品部長)
執行役員 池田 裕子 (管理本部副本部長兼経理部長)
執行役員 尾尻 新吾 (営業統括本部副本部長)
執行役員 高野 雅司 (経営企画部長兼広報室長)

当社は、2014年6月24日より執行役員制度を施行しています。

株主優待制度のご案内

当社では、株主様への感謝のしるしとして、下記のとおりで株主優待制度を設けております。当社グループの取り扱い商品 (家庭で使用される雑貨) を贈呈いたしております。株主の皆さまにおかれましては、当商品をご愛用いただき当社グループの事業に対するご理解を深めていただければ幸甚に存じます。

- 対象
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記録された、当社株式を100株以上ご所有の株主様
- 優待内容
1,000株以上ご所有の株主様に対して、一律に希望小売価格5,000円相当の当社取り扱い商品で家庭で使用される雑貨類詰め合わせを1セット贈呈。
100株以上1,000株未満ご所有の株主様に対して、一律に1,000円のクオカードを1枚贈呈。
- 発送時期
毎年、6月中旬より順次発送

以上



(写真は2022年度の株主優待品です。内容は変更することがございます。)

株式会社 シモジマ

〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-29-8
TEL.03 (3864) 0061 (代表) FAX.03 (3865) 4470
URL <https://www.shimojima.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



本報告書は以下のような環境配慮をして印刷・製本しています。
製版工程では、使用後に廃材となるフィルムを使用しない、ダイレクト製版 [CTP (Computer to Plate)] を用いています。
印刷工程では、VOC (揮発性有機化合物) の発生が少なく生分解性に優れた植物油インキを使用しています。